

科目名	鳥取学						教職		
科目区分	総合教育	履修区分	必修	配当年次	1	単位数	2	開講区分	後期
教員名	吉永 郁生（専任）、重田 祥範（専任）、徳田 悠希（専任）、笠木 哲也（専任）、太田 太郎（専任）、眞田 廣幸（非常勤）								
授業の概要	<p><b>キーワード：鳥取県、地形・地質、気象、海況、動物、植物、歴史、文化、歴史遺産</b></p> <p>「人と社会と自然との共生」を考察する基盤を、鳥取地域を題材として学習する。鳥取地域の社会は、本来、この地域の気象や地質・地理などの要素に加え、山や森林、河川、里、そして隣接する日本海などの特有の自然環境と、そこに見られる動植物などを基盤として成立している。結果として、鳥取地域には原始古代から現代までの歴史や建造物を背景としつつ、特有の民俗や信仰、習わしなどが定着し、現在のこの地域特有の社会や文化、産業などに受け継がれている。鳥取地域における特徴的な事項を相互に関連付けながら解説し、受講生に鳥取地域の自然環境と歴史文化を総合的に理解させることを目的に、複数の教員によって講義を行う。</p>								
到達目標	鳥取県の自然と歴史文化を総括的に学習することによって、世界の中の日本、そして日本の中の鳥取の位置付けを理解する。1つの地域について自然環境と歴史文化の両面から語る力をつけることにより、別の地域あるいは地球環境全般にわたって、今後同じ手法を用いて学習し解説する力を身につける。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション（吉永）</li> <li>2. 自然環境（第1回） 鳥取の気象（重田）</li> <li>3. 自然環境（第2回） 鳥取の地形（徳田）</li> <li>4. 自然環境（第3回） 鳥取の地質（徳田）</li> <li>5. 自然環境（第4回） 鳥取の動植物Ⅰ（笠木）</li> <li>6. 自然環境（第5回） 鳥取の動植物Ⅱ（笠木）</li> <li>7. 自然環境（第6回） 鳥取の海（太田）</li> <li>8. 自然環境（第7回） 鳥取の海の生物（太田）</li> <li>9. 歴史文化（第1回） 鳥取の黎明-弥生から古墳時代へ-（眞田）</li> <li>10. 歴史文化（第2回） 古代の因幡と伯耆-律令制下の鳥取-（眞田）</li> <li>11. 歴史文化（第3回） 山岳信仰-大山と三徳山-（眞田）</li> <li>12. 歴史文化（第4回） 戦国の争乱-因幡と伯耆-（眞田）</li> <li>13. 歴史文化（第5回） 鳥取藩と城下町（眞田）</li> <li>14. 歴史文化（第6回） 鳥取県の誕生（眞田）</li> <li>15. 歴史文化（第7回） 鳥取県内の歴史的建造物と町並み（眞田）</li> </ol>								
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1回 2点，第2回～第15回 各7点（合計 98点）</li> <li>・各回の当教員による小テストかレポート（第1回～第8回），あるいは理解度チェックシートの提出（第9回～15回）</li> </ul>								
講義外での学習	毎回の自主的復習のほか、各自の出身地の自然や歴史・文化に関わる書物を、一冊でも良いから読むことを望む。								
履修上の注意事項	内容が多岐にわたるため、毎回きちんと整理しておくこと。 ※先修科目： 特になし								
教材	毎回の講義で印刷資料を配布する。								